

(別紙4(2))

事業所名 グループホームあじさい「つるまい」

目標達成計画

作成日: 令和元年 7月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	ご利用者様の中で外出の多い方、少ない方と差ができています。	外出＝日常を当たり前とする。	外出時に色々廻ることができれば良いが、玄関の花、近所の花を見ることを日常とすることから初めて行く。	6ヶ月
2	7	職員によっては何が虐待か理解できていない方もいらっしゃる。	皆が一定の知識を持ち、適切な介護、対応ができるようにする。	研修、勉強会への参加を促し、必要に応じ指導、助言を行って行く。	6ヶ月
3	6	職員によっては何が身体拘束にあてはまるか理解できていない方もいらっしゃる。	皆が一定の知識を持ち、適切な介護、対応ができるようにする。	研修、勉強会、会議、カンファレンスを行い話し合っていく。必要に応じ指導、助言を行って行く。	6ヶ月
4	10	運営推進会議においてご家族様のご意見を頂く機会が少ない。	ご家族を預けている立場の方々のご意見を頂き、より良い施設運営ができる。	現在は第4金曜日を会議の場として決めている為、平日のことが多く参加出来ない方もいらっしゃる為、手紙や電話の際にご意見を頂けるようにする。	6ヶ月
5	13	介護の経験が無い状態で就労される方が多く、介護知識が人によっては少ない。	介護の質の向上	研修、勉強会の機会を活かして頂くと共に個別にフォローや、技術やマニュアルの映像化を取り入れる。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。